

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 読売理工学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	放送映像学科	夜・通信	1680	80×2=160時間	
	TVディレクター学科	夜・通信	1680	80×2=160時間	
	クロスメディア情報学科	夜・通信	1040	80×2=160時間	
	電気電子学科	夜・通信	2260	80×2=160時間	
	建築学科	夜・通信	2160	80×2=160時間	
	土木建設学科	夜・通信			○
	建築科	夜・通信	1800	80×2=160時間	
医療専門課程	臨床工学科	夜・通信	2093	80×3=240時間	
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	2070	80×2=160時間	
	ケアキャリア養成科	夜・通信	400	80×1=80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 (掲載： https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 土木建設学科は募集停止中のため

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 読売理工学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
(掲載：<https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	トヨタ財団顧問・元文部 科学大臣	2018.6.14 ～ 2020.6.13	教育行政に精通し た立場からの教育 目標、教育内容のチ ェックおよび提言
非常勤	読売新聞東京本社取締 役副社長関連企業担当	2019.5.23 ～ 2020.6.13	法人運営に係わる 指導およびガバナ ンスの点検
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 読売理工学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目について、それぞれの自己点検評価結果と教育課程編成委員会の意見等を参考に学科会議により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証を行い、PDCAサイクルによって教育目標・重点目標を達成するための計画を立て教科担当者に伝える。</p> <p>各教科担当者が見直しを行い、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項等に関して学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当教員が作成し、学科長会議を経て、年度初めに翌年度分のシラバスを課程、学科別にHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>掲載：</p> <p>https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目履修、成績評価、進級・卒業要件について細則において規定している。 履修認定に必要な出席時数については、専門課程別に細則で規定している。</p> <p>(参考)</p> <p>細則第8条 各科目の成績は、定期試験または随時行う試験及びレポート・作品その他に基づいてそれぞれの教科担当が認定する。</p> <p>細則第13条 各科目の評価は、優(100～85)、良(84～70)、可(69～60)、不可(59～)の4等級を持って表し、不可は不合格とする。</p> <p>細則第15・16条 進級・卒業については、学則にある各学科の教育課程に示す基準による。かつ、当該学科の指定する科目を修得していなければならない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>G P A (Grade Point Average) を、学内の成績評価として使用する。G P Aは生徒の履修した1 授業科目あたりの平均成績を指す。</p> <p>このG P Aを独自奨学金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに定期試験、実技試験、提出課題等) によって評価される。当校では各授業の評価を100 点満点を基準として、60 点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100~85 を優、84~70 を良、69~60 を可として、成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1 授業あたりの平均成績を算出する。各成績を優(3 点)、良(2 点)、可(1 点)のG Pに置き換え、G P Aを(A の単位数×3+B の単位数×2+C の単位数×1)の合計を、各生徒が履修済みの総単位数で除した数をとって求めることによって算出する。</p> <p>成績評価方法については、学則細目をHPで公開するほか、入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>掲載： https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校には、工業専門課程に7 学科、医療専門課程2 学科、社会福祉専門課程2 学科の3 分野1 1 学科を設置している。</p> <p>工業専門課程は、国家資格の取得を目指すことはもとより、科学技術の推進力となる優れた人材を養成し、技術革新の時代にふさわしい、素質豊かで実力ある技術者を育成することで社会に貢献することを目的としている。</p> <p>医療専門課程は、臨床工学技士の国家試験合格に目標を置くとともに、医療技術の発展と医療の質の向上に具体的に貢献できる、人間性を重視した素養豊かな医療技術者を育成することで社会に貢献することを目的としている。</p> <p>社会福祉専門課程は、高齢者・障害者の生活を尊重し援助するために、自ら豊かな感性、的確な判断力、深い洞察力を持った介護従事者の能力開発を図り、専門職としての介護人材を育成することで社会に貢献することを目的としている。</p> <p>進級・卒業については、学則にある各学科の教育課程に示す基準による。かつ、進級・卒業について別に定める「進級判定・卒業認定基準」に基づき、当該学科の指定する科目を修得していなければならない。</p> <p>本校ではディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)を策定し、HPに公表し入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>掲載： https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 読売理工学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html
財産目録	https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html
事業報告書	https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html
監事による監査報告（書）	https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	放送映像学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,500 単位時間/単位	630 時間	150 時間	1230 時間	時間 時間	
		単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		114人	1人	6人	15人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。</p> <p>随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。</p> <p>また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
50人 (100%)	0人 (0%)	45人 (90%)	5人 (10%)
(主な就職、業界等)			
テレビ放送業界を中心に、業界の関連企業への就職 株式会社日放、株式会社イカロス、共立ライティング株式会社、汐留スタジオ他			
(就職指導内容)			
企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
一般社団法人日本ポストプロダクション協会 映像音響処理技術者資格認定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114人	17人	14.9%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、健康上の理由、経済的問題、学校生活への不適合等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	TVディレクター学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,500 単位時間/単位	630 時間	270 時間	1100 時間	時間	時間
		単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	62人	0人	3人	22人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） テレビ放送業界を中心に、番組制作関連企業への就職 株式会社日テレアックスオン、株式会社創輝、株式会社 極東テレビ台、株式会社 ザ・ワークス他			
（就職指導内容） 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>なし</p>
<p>(備考)(任意記載事項)</p> <p>少数定員である学科の利点から、特に就職指導に力を入れており、多くが日テレの人気番組を制作する大手制作会社に入社している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	10人	18.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、健康上の理由、経済的問題、学校生活への不適合等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	クロスメディア情報学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,440 単位時間/単位	600 時間	870 時間	780 時間	時間	時間
		単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	46人	29人	3人	8人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	17人 (76.2%)	4人 (23.8%)
(主な就職、業界等) メディア・ITを中心に、幅広い企業への就職 株式会社読売コンピュータ、株式会社読売不動産、日本エイシス株式会社、CMC JAPAN 株式会社他			
(就職指導内容) 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) IT パスポート試験、基本情報処理技術者試験、サーティファイ Web クリエイター能力認定試験 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	5人	10.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、経済的問題、学校生活への不適合等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気電子学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/単位	1680 時間	0 時間	960 時間	320 時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		71人	24人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	33人 (94.4%)	2人 (0.06%)
(主な就職、業界等) 建築設備・ビルメンテナンス等の業種・関連企業への就職 株式会社野村不動産パートナーズ、株式会社アルプス技研、東武エンジニアリング株式会社、(財)関東電気保安協会他			
(就職指導内容) 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>電気工事士、電気主任技術者、電気工事施工管理技士、工事担任者、消防設備士、消防設備点検資格者</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>電気工事士法第4条第4項第2号に基づく養成施設として、電気工事士法施行規則第3条に定める8科目を必修科目とし、2年間で合計975時間以上の授業を実施する。また、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第1条第1項に規定する教育施設として、経済産業省告示第71号に定める5つの科目区分に従って、2年間で38単位以上の授業を実施する。その他、工事担任者規則第11条に基づいて総務大臣が認定する電気通信技術の基礎科目免除校として、告示に定める5科目の講義を実施する。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	12人	14.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、健康上の理由、経済的問題、学校生活への不適合、在留資格等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1980 単位時間/単位	1350 時間	時間	1052 時間	36 時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		84人	22人	6人	24人	30人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	10人 (27.8%)	21人 (58.4%)	5人 (13.8%)
(主な就職、業界等) 建設業界の建築系企業、特に建築設計・施工関連企業への就職 平岩建設株式会社、株式会社三菱菱冷サービス、河端建設株式会社、ビスポークアーキテクト 一級建築士事務所他			
(就職指導内容) 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 二級建築士(卒業後受験資格)、二級建築施工管理技士(学科のみ)、インテリアコーディネーター など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	14人	16.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、経済的問題、学習意欲の低下等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不応等踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1944 単位時間	1116 時間	144 時間	540 時間	36 時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	71人	0人	6人	15人	21人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	34人 (91.7%)	2人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 建設業界の建築系企業、特に建築設計・施工関連企業への就職 住友林業アーキテクノ株式会社、株式会社東建コーポレーション他			
(就職指導内容) 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 二級建築士(卒業後受験資格)、二級建築施工管理技士(学科のみ)、インテリアコーディネーター など</p>
<p>(備考)(任意記載事項) 夜間部のため有職者が多く就職者数の内、求職者4名いるが全員就職している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81人	10人	12.3%
<p>(中途退学の主な理由) 経済的な理由、健康上の理由、学校生活への不適合等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2570 単位時間/単位	1940 時間	60 時間	870 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		108人	0人	6人	28人	34人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、TAを置き理解度を高める。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	16人 (69.6%)	7人 (30.4%)
(主な就職、業界等)			
医療機関、医療機器企業への就職 医療法人徳洲会東京西徳洲会病院、山梨県立中央病院、公益社団法人有隣厚生会富士病院、医療法人社団新東京石心会昭島腎クリニック他			
(就職指導内容)			
企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>臨床工学技士国家試験、第2種ME技術実力検定試験、第1種ME技術実力検定試験</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>国家試験の実施時期が年度末となり、就職活動中のまま卒業した生徒には就職指導を継続している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110人	12人	10.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的な理由、健康上の理由、学校生活への不適合等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等に対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
社会福祉	社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2070 単位時間 単位	1150 時間	500 時間	600 時間	時間	時間
			2250 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	46人	14人	3人	12人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設、障害者施設、訪問介護事業所等の就職 日本赤十字総合福祉センター、東京北医療センター介護老人保健施設さくらの杜、社会福祉法人洛和福祉会洛和ヘルスケアシステム、NPO法人ホットスペース中原他			

<p>(就職指導内容)</p> <p>企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>介護福祉士国家資格、介護保険事務士、住環境コーディネーター2級</p>
<p>(備考)(任意記載事項)</p> <p>2021年度末までの卒業生は、卒業後5年間、介護福祉士になることができる。この間に以下のいずれかを満たせば、5年経過後も介護福祉士の登録を継続することができる。</p> <p>(a) 卒業後5年以内に国家試験に合格</p> <p>(b) 卒業後5年間続けて介護等の業務に従事</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	7人	15.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的な理由、健康上の理由、学校生活への不適合等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
社会福祉		社会福祉 専門課程	ケアキャリア養成科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1035 単位時間/単位	975 時間	270 時間	時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		13人	13人	6人	5人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	9人 (69.2%)	2人 (15.4%)	2人 (15.4%)
(主な就職、業界等) 日本人は特別養護老人ホーム・介護老人保健施設、訪問介護事業所等の就職、留学生は専門学校・大学・大学院等へ進学 富山福祉短期大学 看護学科、JTBトラベル&ホテルカレッジ、特別養護老人ホーム親愛の丘			

<p>(就職指導内容)</p> <p>個別面談・進路指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>介護福祉士実務者研修 上級救命技能認定 福祉住環境コーディネーター2級、3級ディ ネーター など</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>日本人は、介護従事者として必要な知識と介護福祉士実務者研修修了資格により、最短で介護施設・事業所へ就職し、実務経験で介護福祉士の受験資格を得ることが出来る。留学生は日本文化や介護の知識を身に付け上級学校を目指す。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	2人	13.3%
(中途退学の主な理由)		
経済的な理由、健康上の理由、学校生活への不適合等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個別面談・自宅訪問や保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、スクールカウンセラーが対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
放送映像 学科 (2年制)	200,000 円	560,000 円	510,000 円	
TVディ レクター 学科 (2年制)	200,000 円	560,000 円	450,000 円	
クロス メディア情 報学科 (2年制)	200,000 円	510,000 円	480,000 円	
電気電子 学科 (2年制)	200,000 円	490,000 円	480,000 円	
建築学科 (2年制)	200,000 円	510,000 円	480,000 円	
建築科 (2年制)	100,000 円	250,000 円	150,000 円	
臨床工学 科 (3年制)	230,000 円	600,000 円	660,000 円	
介護福祉 学科 (2年制)	180,000 円	590,000 円	370,000 円	
ケアキャ リア養成 科 (1年制)	130,000 円	460,000 円	370,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、卒業生、保護者、地域からの選出した委員で学校関係者評価委員会を組織。年2回以上開催し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容は、学科長会議をはじめ各学科・部署に伝達し、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
読売理工専校友会 会長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	卒業生委員
放送映像学科在学生 保護者	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	保護者委員
慶応仲通り商店会 会長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	地域委員
(株)インターナショナルクリエイティブ 最高顧問	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業委員
河端建設(株) 工事部部长	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業委員
小嶋電工株式会社 専務取締役	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業委員
江田記念病院 臨床工学科 技士長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業委員
港区立特別養護老人ホーム港南の郷 保健課長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業委員
公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター 業務部教務課 技術主幹	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yomiuririkou.ac.jp/
--